

平成21年度一般会計予算に対する 各会派の総括意見

平成21年度一般会計予算に対する各会派の意見表明が3月27日に本会議場で行われましたので、その意見の内容(要旨)を紹介します。右表は予算案に対する会派の態度表明です。

○…賛成、×…反対 ※他に退席1人(無会派)

	自民クラブ	公明党	市民クラブ	日本共産党	無会派	
原案	○	○	○	×	○2人	×1人

平成21年度一般会計予算は、2年連続のマイナス予算で、先見の明を持って、標準財政規模を基準目標とし、身の丈に合った予算組みをするべく努力したと評価させていただきます。歳入では、大きく幾つかの税収が落ち込んでいます。法人市民税、市たばこ税が減収です。また、多摩テックの9月末閉鎖を予定した入湯税の減収も、金額では全体としては少額ですが、ボディーブローとしてきています。市債は、赤字公債である臨時財政対策債をほぼ倍の12億円を計上し、22年度以降の予算編成に向けて、大きな課題と言えます。

市民クラブ 賛成

厳しい財政運営の中、身の丈にあった着実な予算編成を実践

事務手続の適正化と、委託から一般競争入札等へのさらなる透明性の確保に「努力をいただきたい」と思います。また、人件費比率は、22.5%で、予算を縮小した分、物件費を含めた全体では0.6ポイント減少したものの、単独では0.3ポイント増加しました。職員組合ともよく協議した上で、日本型ワークシェアリングを考えた、将来的な人件費の抜本的削減と適正配置の研究にも踏み込んでいただきたいと思っています。消防費については、家具転倒防止器具助成事業について、混乱が起きないように十分に配慮し、できる限り、先着順でなく、高齢者や体の不自由な方を優先的に対応いただけるよう、検討いただきたいと思っています。教育費については、運動場所の芝生化などさらなる育成環境の拡充をお願いします。

予算審査では、100年に一度と言われるような経済危機、大不況に対して、自治体はどう立ち向かうべきか、その役割が何であるのかが問われることになりました。介護が必要な高齢者がふえ、家庭崩壊を起しかねない深刻な状況にあるにもかかわらず、それを支える介護サービスが絶対的に不足している現状が明らかにされました。少子化が進み、労働力人口の不足がこれほど深刻になっているのに、子育てを支援するサービスが不足し、女性の社会参加が妨げられており、自治体の長たる者が、苦しい状況を我慢してもらえば、景気はやがて底を打つ、などというようなことを言っている場合ではなく、公共セクターが動かなければならないのです。馬場市長が、3期12年の任期最後に提案された2009年度

日本共産党 反対

100年に一度といわれる経済危機、自治体の役割が問われている

予算案は、こうした期待にこたえたものになっていないでしょうか。残念ながら収収の大幅な落ち込みを理由にして、こうしたときこそ、むしろ重要になってくる自治体の責任を、大きく投げ捨てるものになっています。私も、予算原案に反対し、市民の森ふれあいホール建設の中止を求め、この建設のために積み立ててきた基金7億円余を、福祉や教育、市民の暮らしを支えるために使うことを求めて、予算特別委員会に予算組み替え動議を提出したのもそうした理由からです。それらは総額7億円余で可能な施策であります。こうした予算組み替えを断行し、市民の願いにこたえるよう強く要求いたします。

このことを申し添え、2009年度一般会計予算案に対する反対の立場からの意見とさせていただきます。

日野市の税収入の特徴は、安定した個人市民税、法人市民税を補う形で固定資産税収入が順調に伸びてきたという経緯がありました。しかし、本年度予算額は48億円です。実質から見ると、予算ベースで50億円のマイナスになっております。財政的安定の見えない現状において、住民福祉の増進に寄与し、最低レベルの生活を維持するために、今回の予算の配分は政策目標である「市民のあんしん力を高めよう」に合致した、あんしん力アップ事業としての政策実現に向けた効果的な配分バランスがうかがえる内容と言えるでしょう。現下の経済状況を踏まえたテーマ設定であると大変高く評価する次第です。弱者に対するまなざしは、高齢者への配慮としても政策展開し、民間活力を導入していきながら、介護保険施設を充実させ

自民クラブ 賛成

「市民のあんしん力を高めよう」に合致した効果的な予算配分

マンパワーの育成や困りごと支援事業など、独自の高齢者支援などに政策展開してきた経緯というものが見てとれます。しかし、財政という観点から、今後は市民サービスの内容についても真剣に見直し、検討し、点検していかねばならない時代になってきたという自覚が馬場市政における2度目の財政非常事態宣言をもってしても、理解できるどころです。行政をチェックし、削減するという視点だけでなく、収入をはかる工夫を、議会全体の課題として研究していくという新しい視点を持つことが必要ではないかと考える次第です。厳しい現状の中にあっても、福祉を中心とする市民生活の安定を目指した政策提言と実現の努力にあふれる今年度の予算編成の内容に敬意を表します。

日野市の平成21年度一般会計予算は、世界同時不況の影響を受けた厳しい財政状況の中、「市民のあんしん力を高めよう」のテーマのもと、雇用創出に向けた取り組み、市立病院の充実待機児対策、高齢者対策など喫緊の重要な課題にも手だてを講じるなど、市民生活を守り、未来の安定した日野市を築いていくという積極的な姿勢が見られ、評価できる予算となっております。

公明党 賛成

市民生活を守り未来の安定した日野市を築く積極的な姿勢を評価

雇用促進の支援など、同センター事業の推進・充実が図られ、さらに障害者の就労支援として、障害者仕事創出事業が新たに創設されます。また、中小企業支援対策では、定額給付金に合わせた市内中小店舗専用の新・カワセミ商品券の発行については、地域商業の活性化に効果のあるものとして高く評価いたします。また、公明党が推進してきた国や東京都の緊急融資制度の市町村が行う認定審査について、引き続き相談も含め、しっかりと対応を行っていただきたいことを強く要望いたします。予算成立後の執行に当たっては、より一層、市民の期待と負託にこたえられるよう、全力を尽くしていただくとともに、引き続き、財政構造改革を強く押し進めていただき本予算案への賛成意見とさせていただきます。